

くぬぎ分教室 卒業式・修了式

くぬぎ分教室

❀ 令和7年度卒業式 ❀

東京都立府中けやきの森学園小学部・中学部の卒業式が3月24日（火曜日）に本校で行われました。くぬぎ分教室からも小学部の児童1名が参加し、たくさんの御来賓、在校生、教員が見守る中、校長先生から直接卒業証書を受け取ることができました。清水院長先も御来賓として御出席くださり、あたたかくお祝いしてくださいました。

桜の花が少しずつ咲き始めた暖かな陽ざしの中、景色を楽しみながら療育センターのバスで出掛けることができました。御多忙の中、付添いの医師、看護師をはじめ、センター関係者の皆様の多大な御協力のおかげで、本校で実施される卒業式に参加することができました。改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。



❀ 令和7年度 修了式 ❀

卒業式の翌日、3月25日（水曜日）にくぬぎ分教室の令和7年度修了式が行われました。小学部の卒業生1名を除いた中学部2名、高等部1名の計3名の生徒が出席し、この1年の学習を締めくくりました。校長先生、院長先生からの話では、この1年を振り返って学習や行事を頑張ってきたことを褒めていただきました。

振り返りのスライド上映では、スクリーンに映る自分の姿を見て気づいて笑顔になる生徒もいました。この1年間学んだことや楽しい思い出を胸に、4月には新しい学年で新たな一歩を踏み出してほしいと思います。

このように無事に卒業式や修了式を迎えられるのは、府中療育センターの皆様の御理解と御協力のおかげです。いつもくぬぎ分教室の教育活動を支えてくださることに心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

〒183-8553  
東京都府中市武蔵台2-9-2  
東京都立府中療育センター  
電話 042(323)5115

\*-\*-\*ホームページもご覧下さい\*-\*-\*  
<http://www.fukushi.metro.tokyo.jp/>

# ひだまり

都立府中療育センター新聞 第579号 発行日 令和8年3月31日

通園卒園式

通園 卒園式担当



3月26日（木曜日）に、卒・退園式を行いました。当日は子どもたちとの別れを惜しむかのような雨でしたが、卒園児8名・退園児4名を参列のご家族の皆様と一緒に、明るく送り出しました。

いつもと違う場所、違う服装に緊張していた卒退園児でしたが、お友だちの顔を見ると安心し、普段の調子を取り戻しました。いつもと変わらない様子の卒退園児を見て、在園児も落ち着いて参加することができました。

証書授与では元気に返事をしてから清水院長の前まで進み、証書を受け取る卒退園児。在園児も、卒退園児の堂々とした姿をじっと見つめていました。『通園のおもいで』と題したスライドショーでは、通園で過ごした日々を写真で振り返りました。素敵なお兄さん・お姉さんに成長したことを、ご家族の方々と共有し、喜び合うことができました。

最後に卒退園児から『さよならぼくたちのつうえん』、在園児から『みんなともだち』の歌をそれぞれ贈り合います。想いのたくさん詰まった歌のプレゼントに、会場は温かい雰囲気に包まれました。

4月からは新しい場所で、新しいお友だちとの出会いが待っています。それぞれの力を存分に発揮しながら、笑顔あふれる毎日を送ってください。大きく成長した皆さんに会える日を、心待ちにしています。

1. はじめの言葉
2. 証書授与
3. お祝いの言葉
4. 通園のおもいで
5. 卒園児保護者あいさつ
6. 卒園の歌  
「さよならぼくたちのつうえん」  
「みんなともだち」
7. おわりの言葉



## 1A病棟 バスハイク

1A病棟 福祉職

3月12日(木曜日)バスハイクで「サミットストア府中西原店」に買い物に行ってきました。当日は天気にも恵まれ、気温も暖かく絶好のお出かけ日和となりました。

行きの車内では車窓からの景色を眺めつつ好きな歌を歌ったり、買いたい物を発表するなど楽しく過ごしました。

お店に到着してからは、ぬいぐるみや好みのおやつを選ぶなど、それぞれお目当ての物を探しながら店内を散策しました。くまやユニコーン、バナナなどのぬいぐるみを何度も触ったり抱っこして手触りが気に入ったユニコーンのぬいぐるみを購入した方、数多い商品の中から様々なフルーツジュースを選び購入した方など皆さん笑顔で買い物を堪能しました。

帰りのバスでは、購入した物や命名したぬいぐるみの名前を報告し賑やかな車中となり、あっという間にセンターに到着。

「また行きたい」との感想が聞かれ、素敵な笑顔を見せてくれました。



## 若松リコーダー隊の皆様へ 感謝を込めて「ありがとう！」

3B病棟 福祉職

3月生まれの3名の誕生者のお祝いとボランティアの若松リコーダー隊による演奏会を行いました。

若松リコーダー隊には9月にも演奏会で来ていただき、今年度2回目の演奏会となりました。3B病棟だけでなく他病棟も含め、毎年ボランティアで何度も演奏会をしていただき、今回、感謝の気持ちを込めてボランティア表彰をさせていただきました。

ジブリやディズニー、ジャズ、昭和歌謡など色々なジャンルの曲を演奏していただき、楽しい時間を一緒に過ごすことができました。また、利用者と職員はハンドベルで、リコーダー隊と一緒に「♪春の小川」を合奏し、素敵なメロディーを奏でることができました。

若松リコーダー隊の皆様、ありがとうございました。そして、来年以降もよろしくお願ひします。



## チーム医療 痙縮治療チームの紹介

痙縮治療チーム リハビリテーション科理学療法士 関口祐子

当センターの痙縮治療チームは、2012年に発足し、今年で14年目になります。現在のメンバーは、医師、看護師、理学療法士、作業療法士、薬剤師、臨床検査技師、ソーシャルワーカーの総勢18名で構成されています。

痙縮とは、脳の障害(脳性まひ、脳梗塞など)で、本人の意思に反して筋肉が異常に収縮してしまい、つっぱる、動かしにくい、痛みがあるなどの状態で、当センターに入所されている多くの方にみられる症状です。

痙縮治療チームでは、現在、ボツリヌス療法と言われる治療を行ない、利用者のQOLの向上を目指しています。

ボツリヌス療法とは、ボツリヌス菌により産生される毒素を筋肉内に注射することで、痙縮による不快感や不自由さを軽減する治療です。当センターでは、治療効果を高めるために、多職種チームで、毎月カンファレンスを開催しています。例えば、体がつっぱって、車椅子にうまく座れないなどといった具体的な困りごとを挙げてもらい、治療の目標を明確にし、すべての職種で共有することで、一貫したリハビリテーションや生活支援を行なうことが可能になると考えています。

各職種が専門性を発揮し、多角的な視点でアプローチできるように、これからもチームで取り組んでいきます。

## 治療の様子

